

こんにちは せいてつ 病院です

特集

タバコは 百害あって一利なし

- **こんにちは探検隊**
さかい内科呼吸器科医院
- **Zoom upがん医療は今**
食道・胃・大腸がんの内視鏡治療
- **わたしたちのあらたな思い**
地域・救急医療のミッション
診療技術部門のリーダーに聞く
- **こんにちは体験ルポ**
新入職員消防訓練
- **医療をささえる看護のちから**
15病棟
- **なるほど！なっ得！薬の話**
小児への薬の飲ませ方
- **新任医師紹介**

理念 安心・安全

患者さんの安心・安全
職員の安心・安全
病院の安心・安全

基本方針

患者さんの人権を尊重し
インフォームド・コンセントを大切に
安心して任せられる医療とサービスを提供します

地域との連携を大切に かかりつけ医との協力のもと
24時間信頼される診療体制を充実させます

最新・最良の医療水準をめざして研修・教育に努め
チーム医療の推進を図ります





特集

タバコは百害あって一利なし

製鉄記念八幡病院呼吸器外科で取り扱う疾患の半分以上は、肺がんです(表1)。

その肺がんから命を守る方法は、専門医の間でも一次予防の禁煙と二次予防の検診をうけることの2つが重要といわれています。

今回は一次予防について述べたいと思います。

喫煙の害と禁煙の効果

まず、一次予防として喫煙の害と禁煙の効果についてお話しします。喫煙はさまざまながんの原因となり(図6)、ましてや肺がんの原因の一つとして喫煙の影響は明らかです。大体患者さんの80~90%は喫煙が関連しています。肺がん罹患する割合は、1日の喫煙本数が多く(図1)、喫煙期間が長く(図2)、喫煙開始時期が早い(図3)ほど大きくなります。

この喫煙の害に対して禁煙の効果も明らかですが、

すぐには期待できませんので、なるべく早く禁煙を開始することが重要です(図4)。実際に日本を除く先進国では、1950年代以降の減煙により肺がん罹患率は低下傾向にあり、禁煙が肺がん予防にもっとも有効であることの証明でもあります。一方、日本は欧米先進諸国に比べて少なくとも20年は遅れた禁煙途上国であり、喫煙率は先進国の中で高く(男性の喫煙率は1966年の83.7%をピークに減少傾向となっている)、少なくとも21世紀初頭までは確実に肺がんは増える見込みです。

非喫煙者に対する喫煙者の肺がん罹患割合

図1 1日の喫煙本数

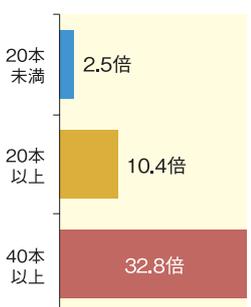


図2 喫煙期間

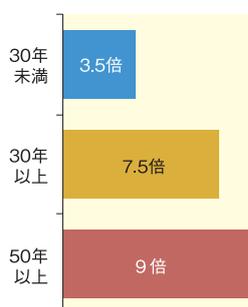


図3 喫煙開始時期

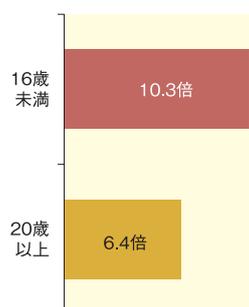


図4 禁煙期間

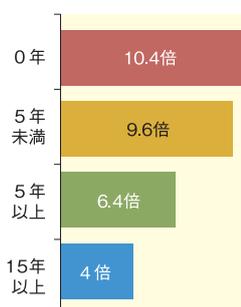


表1
2011年度
呼吸器外科手術症例の内訳

肺がん	43例
転移性肺腫瘍	10例
気胸	8例
縦隔腫瘍	4例
その他	6例
合計	71例

受動喫煙による肺がん発生の危険性

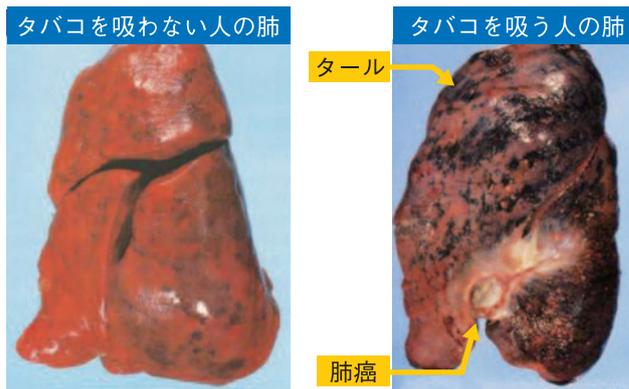
近年、社会的にも問題となっている受動喫煙による肺がん発生の危険性についても触れたいと思います。タバコの害は直接的な喫煙だけでなく、周囲の煙を間接的に吸う受動喫煙によっても引き起こされることがしだいに明らかにされつつあります。

直接的喫煙は、タバコ本体やフィルターを通して吸い口から発生する煙(主流煙)が主体ですが、受動喫煙は燃烧しているタバコの先端から発する煙(副流煙)が主体となります。実は、この副流煙のほうが主流煙より2倍から30倍の高濃度の各種発がん物質を含んでいることが分かっています。ですから、副流煙の害、すなわち受動喫煙の害は明らかと考えられています。しかし、生まれてからすぐに始まる受動喫煙は、直接的喫煙に比べ、タバコの暴露量が明確でないため、実際どの程度、肺がんなどの疾患の発生率を高めるかは確定的ではありません。

最近、受動喫煙と肺がんのリスクに関して、今までの疫学調査をまとめて解析した論文が発表されました。それによると、非喫煙の妻が夫の喫煙により受ける肺がん発生の相対危険率は1.20で、暴露量に応じてその危険率も上昇、一方、非喫煙の夫が妻の喫煙により受ける相対危険率は1.48で、非喫煙女性より受動喫煙による影響が強いようです。また、職場における受動喫煙の相対危険率は1.16でした。

このような結果により、自分自身はタバコを吸わなくても、受動喫煙が肺がん発生の危険性を増すと仮説に矛盾していないことをご理解いただけたと思います。

図5

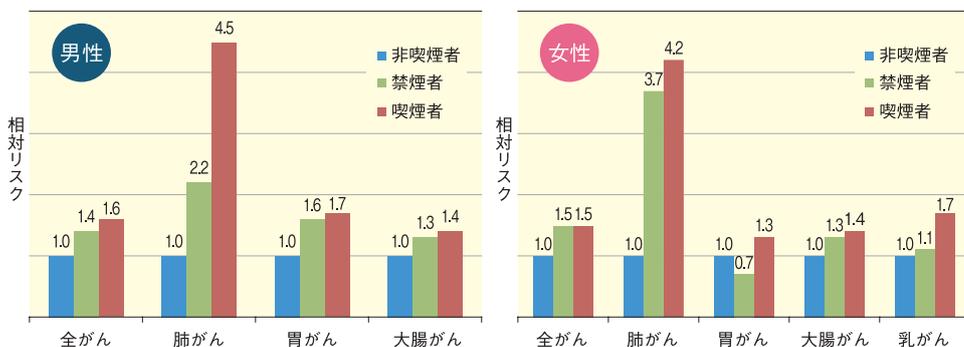


さいごに

喫煙や受動喫煙の問題は、医学的問題とともに社会的モラルの問題でもあります。この記事を読んで、喫煙されている方がこれを契機に禁煙を、また禁煙が無理でも、せめて人前では吸わないマナーを身につけていただければ幸いです。金利0.03%の時代、一日一箱 [450円] 吸われている方が禁煙することによって一年間で450円×365日=164,250円貯まります。それだけの金利を得るためにいくら預けたらよいか想像してください。なんと5億4千750万円も預けないといけません。もれなく億万長者の気分を味わえますので、禁煙いかがでしょうか。



図6 非喫煙者のがん罹患リスクを1とした場合の禁煙者および喫煙者の相対リスク



呼吸器外科主任医長 塚本 修一

日本外科学会認定医
日本外科学会専門医
呼吸器外科学会専門医
日本がん治療認定医

外科外来 TEL 093-671-9312

さかい内科呼吸器科医院

若戸大橋のすぐ近く、若松の静かな町の中にさかい内科呼吸器科医院があります。もとは愛媛出身の坂井二郎 院長がこの地にご縁があり、平成9年12月から開業されています。平成20年からは19床の病棟をスタートさせ、地域では訪問診療から学校医・警察医・産業医などに、さらに看護系やスポーツ系の学校教育にも広く貢献されておられます。今回探検隊は、地域に根ざしたやさしい医療とそのアクティブなご活躍の秘訣を伺いに訪問してみました。



院長 坂井 二郎 先生

Q：先生のモットーをお聞かせください

A：患者さんには、親切、丁寧な対応とわかりやすい説明を心がけできるだけ聞き役になり、“やさしい一言”を忘れないようにしています。そのためにも、職員を大切な財産、家族のように思っています。スタッフを大切にすることは、スタッフが患者さんを大切にやさしくすることにつながるからです。また、学会等に多く参加して最新の医療について理解を深めること、そしてなにより自分が健康であることが基本ですので、スポーツ・映画などで気分転換、体力維持をしています。つねに“最後の責任は自分がとる”という心構えをしています。

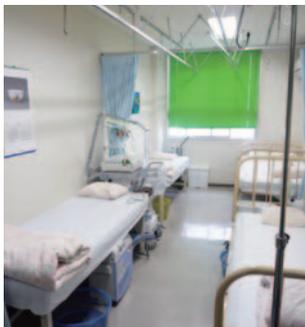
する栄養指導は、管理栄養士が行います。お薬は、患者さんに配慮した院内処方です。スタッフは、みんなやさしく、長く勤めてくれ、産後戻ってくれた看護師もいます。とても信頼できるスタッフです。

Q：当院へのメッセージをお願いします

A：いつも快く患者さんを受け入れていただき感謝しています。患者さんから製鉄記念八幡病院は対応がよいと、いつも聞かされます。病診連携が一番うまくできている病院です。ひとえに、医療連携室の力だと思います。

Q：貴院の特色を教えてください

A：呼吸器疾患を中心に、内科全般を幅広く対応しています。禁煙外来・糖尿病外来・PSG検査・CPAP・呼吸リハビリ・在宅酸素療法や胃カメラ・エコー検査・栄養指導等を行っています。エコー検査は臨床検査技師が、生活習慣病に対



医療法人
さかい内科呼吸器科医院

若松区本町3-4-10
TEL093-751-2790 FAX093-751-2791

診療時間

	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:30	○	○	○	○	○	○	△
14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	△

若松の訪問は初めてであり、少し緊張して向かいましたが、坂井先生があたたかく迎えてくださいました。院内も、お好きな絵画で飾られていたり、ライトアップや病室は温もりのある雰囲気、やさしさを大切にしていることが伝わってきました。今回、スタッフの方々と昼食をご一緒にさせていただきました。「スタッフは家族のように大切にしたい」と語られた坂井先生に、最後に一言お願いしますとの問いに「幸せです」とお答えいただき、私たちも幸せな一日になりました。



今回の探検隊

医事部 秋吉 裕美
医事部 田辺 浩子



消化器内科部長
中村 滋郎

日本内科学会認定医／指導医
日本消化器病学会専門医／九州支部評議員
日本消化器内視鏡学会専門医／指導医
／九州支部評議員
日本消化管学会胃腸科認定医

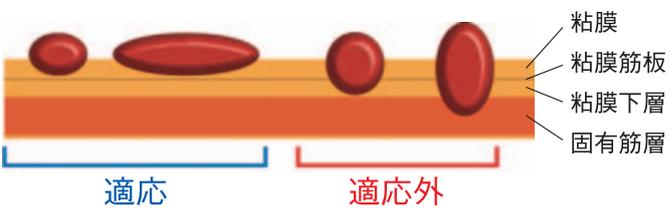
食道・胃・大腸がんの内視鏡治療

以前は日本人の国民病といわれた胃がん、飲酒や喫煙がリスクとなる食道がん、近年患者数が著しく増加した大腸がんのうち早期の場合は内視鏡による治療が可能となりました。

内視鏡治療の適応

食道・胃・大腸とも、がんはまず粘膜に発生し、時間をかけてさらに深い粘膜下層→固有筋層へと浸潤します(図1)。現在、お腹を切らずに内視鏡で切除できるのは、粘膜内にとどまったがん(粘膜内がん)です。このがんはリンパ節転移の可能性がほとんどないため、お腹を開けて、病変とともに周りのリンパ節を切除する治療が必要ないと考えられるからです。

図1 がんの進展とESDの適応病変



ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術

数年前までは2cm以下の小さな粘膜内がんのみしか治療できず、それ以外はすべて開腹手術となっていました。しかし、近年ESDという手技が開発され、2cmを超えるものや潰瘍の傷あとをとともう早期がんも切除できるようになりました(図2)。このESDは、2007年に胃がん、2008年に食道がん、本年度より大腸がんに対して保険診療が可能になっています。

治療にあたって

ESDを行うには病変の範囲・がん組織の性質を正確に判断し、かつ高度な治療技術が必要となります。製鉄記念八幡病院消化器内科では、必要かつ十分な精密検査を行い、治療可能と判断した病変に対してESDを行っています。2006年より開始し、治療件数は300件を超えるようになりました。適応以外の病変は外科と連携して、手術や化学療法で治療します。

図2 ESDの手技

1 がんのまわりを目印につけます

2 粘膜下層に液を注入します

3 目印を取り囲むように切開します

4 ナイフで病変を少しずつ慎重に剥ぎ取ります

5 切除完了です

6 内視鏡で取りだします

実際のESD風景

地域・救急医療のミッション

診療技術部門のリーダーに聞く



(写真左より) 白川、内田、安永、山澤、小柳、井上

信頼ある検査データを迅速に提供

臨床検査は血液・尿・組織などを分析する検体検査と、心電図・超音波検査などの生理機能検査があります。検査部では救急や時間外など24時間体制で、迅速かつ正確で信頼性のあるデータを提供しています。また、当院の理念でもある患者さんの安心・安全をつねに考え、健康維持・回復に貢献できるように努めてまいります。

検査部技師長 白川 義継

救急医療や放射線治療の円滑な運営のために

現在、放射線部のスタッフは、放射線技師18名、受付・助手7名です。おもに放射線画像検査や放射線治療の業務を担当しています。今後も患者さんの一日も早い健康復帰を支援し、全員で協力・努力しながら、救急医療や放射線治療の円滑な運営と体制の充実を図っていかねばならないと考えています。

放射線部技師長 内田 和昭

栄養に関する正しい情報を伝達

食事は毎日欠かさず食べるもので、体への影響は大きく、生活習慣病は日頃の食事に気をつけることで発症・進展を予防できます。管理栄養士の役割はみなさんに栄養に関する正しい情報を伝達することだと思います。病院食を通し、また地域の方への栄養教室などを企画し、栄養に関する情報を発信していきたいと思っています。

栄養管理部課長 安永 勝代

薬物療法全般に責任を持つ体制を

急性期病院での薬物療法の有効性、安全性の向上を担保するのが薬剤部の役割です。そのために各病棟への専任薬剤師の配置に取り組みます。病棟専任薬剤師がすべての患者さんのお薬に関わり、医療スタッフへ情報提供を行い、服薬説明や退院時指導を行って薬物療法全般に責任を持つ体制を作ります。

診療技術部門副部長・薬剤部長 山澤 理恵子

生活や活動の場へ戻るための最善の医療

リハビリテーションとは、障害や支障が生じた患者さんに対して、今までの生活や活動の場へ戻れるよう最善の医療を提供するシステムの総称です。その入口を担当する当院では、超早期からの対応や回復期病院・地域医療との連携が求められており、社会医療法人となった今、患者さんの思いに対する私たちの役割はさらに重要になったと感じています。

リハビリテーション部技師長 小柳 靖裕

高度医療機器の安全性と信頼性を確保する

救急医療を行うなかで、高度医療機器の利用は欠かせません。臨床工学技士は、その医療機器の保守管理を行い、いつでも安全に使用できるようメンテナンスをする専門医療職です。スタッフ8名が在籍し、安全性と信頼性を確保する責務を担い、患者さんに安心して治療を受けていただけるよう努めています。

臨床工学部技師長 井上 孝生

新入職員消防訓練

管理棟に総務部があります。なかでも総務課は人事や福利厚生・購買・契約・安全・セキュリティなど多種多様な仕事をしています。今回は総務課の安全・防災管理業務のうち、消防法に基づいて行われる消防訓練を紹介します。

患者さんに安全な入院生活を送っていただくため、「自分たちの職場は自分たちで守る！」をコンセプトに、もしもの時に備えて安全で確実に行動できるよう、毎年新入職員を対象に実践的な消防訓練を行っています。



活動基準や原則など説明を行います



シーツを利用して搬送訓練!!



放水訓練
「火事だ！」発声して放水します



屋内消火栓取り扱い説明を行います



今回の体験隊

総務部 小坂 久美
医療相談室 清國 睦美

今回、患者さんの安全を確保するという意識を持って消防訓練に臨みました。消防器具の使用方法や搬送のコツなど、実践的な指導を受けることで、いざという時に安全かつ冷静に行動することができるのだと身をもって知ることができました。また、チームワークが大切であることも、訓練を通して感じた体験でした。



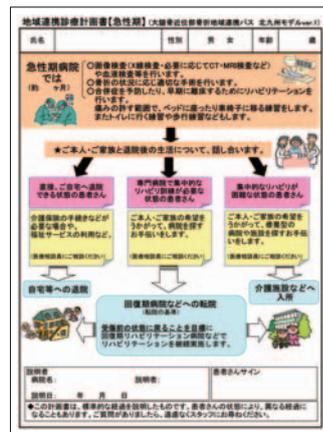
今回、消防訓練に参加した新入職員

15病棟

患者さん・ご家族・地域医療の立場を考えながら
入院から退院までを安心して過ごせる看護を提供します。



図1



15病棟は整形外科の急性期病棟です。スタッフは金子師長をはじめ31名の看護師とクラーク1名・看護補助者4名です。

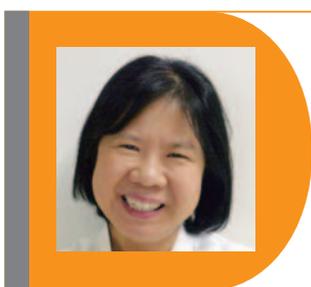
整形外科といえば骨折治療のイメージですが、そのほかにも股関節・膝関節などの変形性関節症、ヘルニアなどの脊椎疾患、関節・脊椎などの化膿性疾患、リウマチなど多様です。人工関節置換術などのように専門的な知識や経験を必要とされる治療もあります。手術による身体的な影響はもちろん療養生活での不安を少しでも和らげるように、いつも笑顔を忘れず「もっと何かお手伝いすることはないか?」という気持ちを持って看護を行うことを心がけています。スタッフ同士が協力し合い業務を行っている、いつも元気で明るい雰囲気の中病棟です。

な療養生活を送れるように努めています。

また、多くの患者さんが退院後の生活に向けてのリハビリを行います。転院となる場合は、メディカルソーシャルワーカーやリハビリテーション部のスタッフと連携をとりながら、退院支援も行っています。大腿骨近位部骨折地域連携パス(図1)により、連携医療機関へのスムーズな転院を行うシステムも取り入れています。

患者さんは、日常生活活動が徐々に低下して入院する場合もあれば、事故などで突然ベッド上生活を余儀なくされる場合もあります。トイレや食事など日頃何気なく行っていた動作が自由にできなくなり、その不安やストレスは計り知れません。高齢の患者さんが多いので、さまざまな危険を予測しながら、安全

わたしたちは、患者さんやご家族が手術・治療や退院後の生活に対し、少しでも不安を軽減できるようにコミュニケーションを大切にし、患者さん一人ひとりに寄り添った看護を提供できるよう、今日も笑顔で頑張っています。



15病棟担当薬剤師より

手術前後に使うお薬の説明だけでなく、内服薬の中止・再開の確認、適切な鎮痛剤の選択や副作用の発現確認など治療時期に沿ったお薬の指導や管理を行っています。

患者さんが不安なく治療に専念できるよう、医師や看護師と密に連絡をとり、指導することを心がけています。

石井 美佳子

小児への薬の飲ませ方

小さなお子さんに薬を飲ませなければならないとき、大変な思いをされた経験はありませんか？

ちょっとした工夫で薬を飲みやすくする方法を紹介します。

赤ちゃんはもちろんのこと、1歳半くらいの乳児から5歳未満の幼児では、固形物を飲み込む力が未熟なため、錠剤やカプセル剤ではなく、粉薬や水薬が処方されます。

今回は、小児への粉薬と水薬の飲ませ方について紹介します。

粉薬

形状によって、粉末剤・細粒剤・顆粒剤・ドライシロップ剤などに分類されます。小児が粉薬を直接飲めないときには、少しの水で溶かし練り状(ペースト状)にしてほほの内側に直接ぬり、そのあと水を飲ませる方法があります。そのほかに、ジュースや牛乳などに溶かしたり、食べきれぬ量の好きな食べ物に混ぜたりする方法があります。とくに、苦味のある薬ではゼリー、アイスクリーム、ヨーグルトなどの冷たい物や市販のオブラートゼリーに薬をのせて飲むと、苦味がなく服用できます。

ただし、テトラサイクリン系(ミノマイシン®)やニューキノロン系の抗菌薬などは、牛乳に含まれているカルシウムが、薬の効果を低下させます。ほかにも、クラリスロマイシン(クラリス®)ではジュース・スポーツドリンク・ヨーグルトなどに混ぜると苦くなり、かえって飲みにくくなる場合があります。

また、主食に混ぜてしまうと、味が変わるために主食を食べなくなる原因となることがあるので、混ぜないようにしましょう。

水薬

スプーンで少しずつ、できるだけ口の奥の方へ入れると飲ませやすくなります。スプーンを嫌がる場合は、スポイトを使う方法もあります。



どうしても薬をいやがるときは、他のタイプに変更できないか、医師に相談してください。

そのほかにも、一緒に飲むと苦みが増すお薬や、飲み合わせに注意が必要な食品もありますので、お気軽に薬剤師にご相談ください。

副理事長・事務長新任のごあいさつ

4月より立川氏の後任として事務長を仰せつかった田部(たなべ)と申します。大分県出身で28年間九州を離れていましたが、10年前から北九州市に住んでいます。製鉄会社と物流会社で33年間営業、総務、人事など様々な仕事に携わってきました。今般、歴史と伝統ある当院で働くご縁をいただいたことを光栄に思っています。

医療の世界は初めてなので現在一から勉強中ではありますが、急性期対応の地域中核病院としての機能と役割を正しく認識し、地域のみなさまや医療機関からますます信頼される病院にするべく、また日夜懸命に働いている職員のみなさんが自分の仕事にますます自信と誇りを持てる病院にするべく、これまでの経験と知見を活かしながら全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願いいたします。



副理事長 事務長 田部 公宏

新任医師 紹介



肝臓内科
山崎 晃裕
<専門>
肝臓

肝臓内科医として着任してまいりました山崎です。とても雰囲気の良い病院で、楽しみです。よろしくお願いいたします。



消化器内科
平田 敬
<専門>
消化管

消化器内科4年目の平田と申します。まだまだ未熟ですのでご指導のほど、よろしくお願いいたします。



循環器内科
中手 夕季
<専門>
循環器・高血圧

慣れないことが多く、また北九州も初めてでみなさまには何かとお世話になります。よろしくお願いいたします。



糖尿病内科
宮川 智愛
<専門>
糖尿病

医師5年目の宮川です。教育入院や外来指導を通して、血糖コントロールや合併症の予防を行いたいと思います。



糖尿病内科
妹島 千恵
<専門>
糖尿病

北九州に住むのは初めてですが、少しでもお力になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



腎臓内科
吉田 健
<専門>
腎臓・透析療法
(血液・腹膜透析)

4月より腎臓内科医としてスタートしたばかりで、わからないことだらけですが、よろしくお願いいたします。



腎臓内科
中村 奈央
<専門>
腎臓・透析療法
(血液・腹膜透析)

温かい診療を心がけたいと思います。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科
川上 寛
<専門>
呼吸器

患者さん、スタッフおよび連携の医療機関と良い関係を築いていきたいと思えます。よろしくお願いいたします。



呼吸器内科
大庭 ひろみ
<専門>
呼吸器

飯塚出身で、北九州に住むのは初めてです。魅力を色々見つけて楽しんでいきたいと思えます。



呼吸器内科
花香 哲也
<専門>
呼吸器

初めまして。卒後4年目、呼吸器内科2年目の花香と申します。早く慣れるように頑張ります。



脳血管内科
松木 孝之
<専門>
脳血管障害

脳卒中・神経センターの一員として製鉄病院と地域のみなさまに貢献できるよう頑張ります。



4月1日より29名の新任医師が着任し、診療に励んでいます。
ご心配なことがあれば気軽にご相談ください。

くわしくは当院のホームページ <http://www.ns.yawata-mhp.or.jp> 診療科紹介をご覧ください。



脳神経外科
つちもち りょうすけ
土持 諒輔

<専門>
脳神経外科一般

4年目という大事な時期に、製鉄病院で働けることを嬉しく思っています。頑張りますので、よろしくお願いします。



外科
やの ひろこ
矢野 博子

<専門>
消化器

4月から外科で勤務させていただいています、矢野博子です。これからよろしくお願いたします。



整形外科
はら まさみつ
原 正光

<専門>
整形外科一般

整形外科の原と申します。患者さんにていねいな説明を心がけ、全力で治療にあたっていきたく思います。



泌尿器科
あだち たくみ
安達 拓末

<専門>
泌尿器癌・泌尿器科一般
内視鏡手術

卒後8年目、泌尿器科6年目の安達と申します。患者第一の医療を心がけて頑張ります。



泌尿器科
もんじ けんじ
門司 恵介

<専門>
泌尿器科一般

本年度から着任しました泌尿器科医師の門司です。北海道出身です。よろしくお願いたします。



眼科
うしじま みさこ
牛島 美奈子

<専門>
眼科一般

初めまして。眼科の牛島美奈子と申します。多くのことでみなさまの力になれるよう頑張ります。よろしくお願いたします。



放射線科
いので ともき
井手 智

<専門>
放射線診断学・IVR

卒後6年目になります。3年ぶりに帰って来ました。がむしゃらに頑張りたいと思います。



麻酔科
おがた ゆういち
緒方 裕一

<専門>
麻酔一般

麻酔科の緒方です。手術がスムーズにできるように、努力していきたいと思しますので、よろしくお願いします。



救急・集中治療部
まつお みずえ
松尾 瑞恵

1年ぶりに戻ってきました。着実に力をつけて、役立てたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

研修医1年次集合

「なりたい医師
理想の医師」

患者さんの意志を
尊重できる医師
東 晃史

フットワーク軽く
誰からも
慕われる医師
池田 翔大

患者さんと医療スタッフ
みなさんに親しまれる医師
野田 裕剛

初心を忘れず
一生懸命な医師
太田 浩二

患者さんの信頼に
応えられる医師
坂田 一仁

患者さんに
安心感を
与えられる医師
福元 遼

患者さんから
信頼される医師
宮内 沙奈

患者さんが気軽に
何でも相談できる医師
桑野 幸

いつも温かい心で
患者さんに接する
ことのできる医師
中谷 未央



血液検査の結果を待つ時間が長い

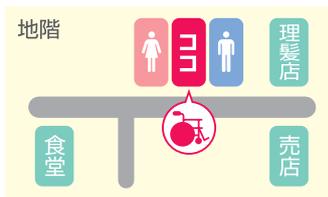
A SQ(スーパクイック)管という、従来より三倍速く検査を行える採血管に変えました。また検査室への搬送間隔も短縮しています。少しでも患者さんをお待たせしないよう、今後も工夫をしていきたいと思っております。

入院したときのテレビカードを安くしてください

A 病室のテレビの管理は委託会社が行っていますが、料金については、これまでの20時間1,000円から30時間1,000円に変更しています。

地階に車椅子で入れるトイレがない

A 食堂や理髪店の近くに身障者用トイレをあらたに設置しました。



貴重なご意見ありがとうございました。

ペットボトルキャップもあつめて 世界のごどもたちをワクチンも届けよう!

4月19日現在1211人分
ご協力ありがとうございます

4月 新日鐵化学(株)九州製造所のみなさん

患者さんの権利と義務

患者さんには「ご自身が生命(いのち)の主人公」として「守られていること」「守っていただきたいこと」があります。

■選べる権利

いつでも必要かつ十分な医療を受けるために、ご自身で医療機関を選択する権利があります。

■決める権利、守る義務

十分な情報や説明を受け、理解した上で、提案された診療計画などを自らの意志で決める権利があります。しかし、それらの内容に関する指示は守っていただく義務があります。

■知る権利、伝える義務

病状、症状、診療計画、検査・手術、薬について、および必要な費用など、納得できるまで説明を受ける権利があります。同時に、私達に正確で十分な情報を伝えていただく義務があります。

■プライバシーに関する権利

医療の中で得られた個人情報を守られ、私的なことがみだりに干渉されない権利があります。

■参加する権利、配慮の義務

良質で安全な医療を公平に受けられるよう医療従事者と協力し、積極的に医療に参加する権利と、他の患者さんや医療従事者に支障を与えないよう配慮していただく義務があります。

■セカンドオピニオンに関する権利

診断結果、治療内容・治療方法の選択などについて、主治医以外の医師の意見を求める権利があります。他の医師からの助言を得るために必要な情報は提供いたしますので、お申し出ください。

診療科目

内科	肝臓内科	消化器内科	循環器内科	糖尿病内科	腎臓内科
心療内科	脳血管内科	呼吸器内科	小児科	外科	消化器外科
呼吸器外科	血管外科	脳神経外科	整形外科	リウマチ科	形成外科
産婦人科	皮膚科	泌尿器科	眼科	耳鼻咽喉科	緩和ケア外科
病理診断科	放射線科	麻酔科			

専門外来

内科 神経内科／血液外来／甲状腺外来／ 膠原病外来／ペースメーカー外来／ 腹膜透析外来／禁煙外来	呼吸器内科 SAS外来(睡眠時無呼吸症候群)	整形外科 リウマチ外来
心療内科 カウンセリング／自律訓練外来	小児科 小児循環器／小児神経／ 小児腎臓／小児肥満／	放射線科 放射線治療外来
	外科 ペインクリニック	緩和ケア 緩和ケア外来
		女性診療外来 乳腺外来

休診日:日曜、祝日、第2・4土曜日

予約センター: 093-671-5489

夜間休日急患受付: 093-672-3111

全科予約制

予約受付時間 8:00~16:00
当日予約は10:30まで

編集後記

今回より広報誌編集に携わることになりました。よく分からないことはいっぱいですが、わたしたちの病院についてできる限りお伝えし、少しでも親しみやすい病院となるよう頑張りたいと思います。 看護部 寺島 聖子

こんにちは
せいてつ
病院です

発行日:2012年7月1日
発行部数:4000部

社会医療法人 製鉄記念八幡病院
〒805-8508北九州市八幡東区春の町1丁目1-1
TEL 093-672-3176
http://www.ns.yawata-mhp.or.jp
編集・発行責任者: 病院長 石束 隆男

●広報誌へのご意見はこちらまで info@ns.yawata-mhp.or.jp
●地域医療連携のお問い合わせ TEL093-671-9700

デザイン編集・印刷: よしみ工業株式会社 表紙イラスト: かわぐち たまよ